

地域特性を活かしたパンジーの鉢物栽培技術の確立

【背景と目的】

パンジー・ビオラは、都産花壇苗の 1/3 を占める重要な品目であるが、産地間競争に押され市場取引が低迷している。一方、近年のガーデニング需要の高まりから、新たなオリジナル商品の提案により都内花き生産を活性化できる可能性がある。区部は冬季温暖で、中央市場や消費地に隣接するなど、他産地よりも高単価・高品質な鉢花生産が可能と考えられる。そこで、これら優位性を活かし、パンジー・ビオラの高収益なオリジナル商品を開発する。

【研究概要】

- (1) 冬季温暖な気象資源を活用した F₁パンジー・ビオラの鉢花栽培技術
 - ① 播種・移植時期・品種と開花量推移・出荷時草姿
 - ② 有機質温床（踏み込み温床）及び霜よけ資材利用の検討
- (2) パンジー高性種による新しい鉢花の栽培技術確立
 - ① 摘心とわい化剤等使用方法の検討
 - ② 鉢花試作と試出荷
 - ③ 仕立て資材の検討（露地霜よけ・または無加温雨よけハウス栽培）